

新型コロナウイルス感染症における公式戦(リーグ・大会)の対応策について

(使用グラウンドにより新型コロナウイルス感染症における公式戦(リーグ・大会)の対応策緩和による変更)
※奈良県フットボールセンター・橿原多目的グラウンドにおける適応

平素は、当連盟運営に格別なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症による2020年度の当連盟対応策について、次の通り取り決めました。

各チームにおかれましては、遵守していただきますよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後の感染状況次第では下記対応策をさらに強化、または緩和する場合があります。その際には改めてご案内いたします。

《《記》》

【実施日】

2020年度当連盟公式戦開始より原則2021年3月31日までとする。

【参加前提条件】

- ① 選手、チームスタッフ、応援者の体温を必ず測定し、平熱を超える発熱がある場合は参加しないこと。
(発熱についてはあくまでも目安であり、個々の平熱に応じて個別に判断し、決して無理をしないこと。)
- ② 咳、咽頭痛、倦怠感等風邪の諸症状や味覚・嗅覚障害がある場合は参加しないこと。
※検温は当日グラウンド到着時に行うのが望ましいが困難な時は各選手自宅出発時に検温でも良しとする。

【試合前】会場到着 → 手洗い及び検温 → 更衣 → MTG・ウォーミングアップ → メンバーチェック → 試合へ

- ① 会場到着時、練習前後には必ず消毒用せっけん※にて正しい手洗いを励行すること。(必須)
手指用アルコール消毒液による消毒をすることが望ましいが、入手困難であるため努力義務とする。(本大会は会場設置)
- ② チーム内の更衣、ミーティングなど密集する場合、人との距離をあけて実施すること。
- ③ 試合前、HTのミーティングは簡素化にすること。その際、選手、監督等スタッフ全員マスク着用のこと。
- ④ メンバーチェック、用具チェックはベンチ前で、コイントスはピッチ内で実施する。
- ⑤ 試合開始前の選手の整列、握手等のセレモニーは実施せずキャプテンのみとし、同様にコイントス時の握手は実施しない。

【試合中】

- ① 控え選手、監督等スタッフ全員マスクを着用し、ハーフタイムミーティングは選手間の距離を保つ。
- ② 天候・気温に関わらず飲水タイムを前後半各1回ずつ設ける。(気温により対応、連盟より通知指示)
- ③ スクイーズボトルの設置場所は、自陣ベンチ前と自陣ゴール横のみとする。(ペットボトルも可:但し、水限定とする)
- ④ スクイーズボトル等は個人別に対応するのが望ましいが、困難な場合は口をつけて飲水することを避けること。
- ⑤ 飲水タイム時に飲水する際、紙コップ等を利用し、回し飲みしない環境を構築すること。
- ⑥ 唾を吐く行為は新型コロナウイルス感染の観点から禁止事項とする。
- ⑦ ハーフタイムにおける口腔内のうがいや洗顔はグラウンド外(流し台のある所)で行う。
- ⑧ ハーフタイム時の次の試合チームのウォーミングアップは禁止。
- ⑨ 試合中や練習中に選手が接触等により立ち上がれなく場合は当該チームのマスク着用のスタッフを速やかにピッチ内へ誘導して、適切な処置を行うよう進言してください。

【試合後】試合終了 → 手洗い → 更衣 → MTG

- ① 試合終了後の整列、握手は実施せず、そのまま自陣ベンチに戻ることに。
- ② 相手チーム、運営本部への挨拶は実施しない。
- ③ 試合終了後必ず消毒用せっけん※にて正しい手洗いを励行すること。(必須)
手指用アルコール消毒液による消毒をすることが望ましいが、入手困難であるため努力義務とする。
- ④ チーム内の更衣、ミーティングなど密集する場合、人との距離をあけて実施すること。
- ⑤ 試合後のミーティングは簡素化にすること。
- ⑥ 使用したスクイーズボトル等はその場で必ず洗浄すること。
※消毒用せっけんは本大会(風神CUP)においては運営側が設置

【その他】

- ① チームサポーターには大声での応援を自粛してもらうこと → チームから呼びかけるようにすること。
- ② 個人およびチーム内で発生したごみ等は必ず持ち帰ること。
- ③ 帰宅後はすぐに入浴し、着衣を洗濯するなど感染防止に努めること。
- ④ 各会場においてメンバー表を2部作成し4審に提出する。※1部は本部用(検温結果記入)・1部は対戦相手用
- ⑤
- ⑥